



2017/7/1(土) ▶ 2017/8/26(土)
18:30開演(17:30開場) 各回解説付き

世界無形遺産
【能楽】
2017 summer
Evening Noh-theater

観能の 夕べ



NEW 能楽体験

観能の夕べをよりお楽しみいただくため、今回新たに開演前に演目に関する体験を実施します。(特別公演は除く)演目により体験内容も違いますので、詳しくは能楽堂までお問合せください。



[時間] 各回16:30~(40分) ※16時~受付開始
[場所] 石川県立能楽堂
[定員] 20名/回(お申し込み順)
[料金] 無料(当日の鑑賞者に限る)
[ご予約・お問合せ] 県立能楽堂 TEL: 076-264-2598

撮影: 亀田邦平

- | | | | | | | | | |
|--|--|---|--|---|--|--|---|---|
| <p>8月26日(土)
狂言 入間川
能 鶴飼
●山田譲二 ●高橋憲正</p> | <p>8月19日(土)
特別公演
狂言 咲華
能 橋弁慶
●炭哲男 ●宝生和英</p> | <p>8月12日(土)
狂言 墨塗
能 葵上
●能村祐丞 ●広島克栄</p> | <p>8月5日(土)
狂言 狐塚
能 巻絹
●清水宗治 ●松田若子</p> | <p>7月29日(土)
狂言 蝸牛
能 弓八幡
●炭哲男 ●島村明宏</p> | <p>7月22日(土)
狂言 樋の酒
能 須磨源氏
●炭光太郎 ●渡邊茂人</p> | <p>7月15日(土)
狂言 苞山伏
能 東北
●能村祐丞 ●福岡聡子</p> | <p>7月8日(土)
狂言 因幡堂
能 敦盛
●炭哲男 ●敷俊彦</p> | <p>7月1日(土)
狂言 太刀奪
能 葛城
●能村祐丞 ●高橋右任</p> |
|--|--|---|--|---|--|--|---|---|

【会場・お問い合わせ】

石川県立能楽堂 TEL.076-264-2598

〒920-0935 金沢市石引4-18-3 FAX.076-264-2598

各公演 1,000円 | 特別公演 3,000円

※いずれも高校生以下無料

【主催】いしかわの能楽鑑賞事業実行委員会



「いしかわ子ども文化体験チャレンジスクール～進め! 出世街道～」対象事業
石川県立能楽堂 連携講座

金沢能楽美術館 期間中の催し

★観能の夕べ プレ講座 (4回) 参加無料(要観覧料、要申込)

①7月1日(土) 11:00~12:00 ②7月15日(土) 14:00~15:00

③7月29日(土) 14:00~15:00 ④8月12日(土) 14:00~15:00

会場: 金沢能楽美術館3階 講師: 金沢能楽会能楽師

お問合せ 金沢能楽美術館 TEL.076-220-2790

金沢市広坂1丁目2-25 10:00~18:00(入館 17:30まで) 月曜休館(祝日の場合翌日休館)

※満席の場合、ご入場いただけない場合がございます。※駐車場は台数に限りがございますので、できるだけ公共交通機関をご利用ください。



「観能の夕べ」
能楽体験

「観能の夕べ」をより
お楽しみいただくため、
開演前(特別公演を除く)
に演目に関係する体験
を実施します。



能楽師による能楽の解説
・公演する演目の謡・仕舞、囃子、狂言の体験
※講師の先生により、体験の内容が異なります。

- 日時 講師** 各回午後4時30分(受付午後4時)
- 7月1日(土) 謡・仕舞体験 戴克徳、佐野弘宣
 - 7月8日(土) 謡・仕舞体験 渡邊茂人、福岡聡子
 - 7月15日(土) 狂言体験 炭哲男、鍋島憲
 - 7月22日(土) 謡子体験 住駒俊介、江野泉
 - 7月29日(土) 謡・仕舞体験 高橋憲正、松田若子
 - 8月5日(土) 囃子体験 麦谷暁夫、飯嶋六之佐
 - 8月12日(土) 謡・仕舞体験 佐野玄宣、木谷哲也
 - 8月26日(土) 狂言体験 荒井亮吉、中尾史生
- お願い** 白足袋をご持参ください。

加賀宝生 金沢能楽会

五代藩主綱紀の時代より加賀藩では、能を愛好する藩主が続き幕末まで能役者を手厚く保護しました。

その一方で、細工所の職人たちにも能楽の一部を兼芸させ、教養を高めさせると同時に能の人材として育成し、また領民たちにも推奨しました。これにより、世に「加賀宝生」といわれるほどの能楽の盛んな土地がらとなりました。一時、幕藩体制の崩壊によって加賀宝生も衰退しましたが、佐野吉之助師の登場により、一九〇一年金沢能楽会が設立され、以来一〇〇年以上の長きに渡り、連続と伝統を受け継ぎ現在にいたっています。

現在、石川県立能楽堂において通算回数は一、一〇〇回以上に及んでいます。

「観能の夕べ」の終了時間は午後8時30分頃です。詳細は、金沢能楽会又は県立能楽堂のホームページをご覧ください。

金沢能楽会のHPではその他魅力的な公演の情報も掲載しています。

7月1日 土

解説 ● 佐々木香織(石川工業高等専門学校准教授)

狂言 太刀奪 能村 祐丞

能 葛城 高橋 右任

旅の山伏が葛城山で吹雪に遭っている所へ山女が通りかかる。女は一行を庵に招き入れ火を焚いてもてなすうち、自分が葛城の神であり役行者の命に背いた咎で戒めを受ける身となったことを明かし、祈禱を頼んで消える。やがて祈禱する山伏の前に、女神が現れ喜びの大和舞を舞う。

7月8日 土

解説 ● 杉山欣也(金沢大学人間社会研究域教授)

狂言 因幡堂 炭 哲男

能 敦盛 戴 俊彦

出家した熊谷直実が合戦で手にかけた平敦盛の菩提を弔うため一の谷を訪れると、草刈男たちが現れる。その中の一人と話を交わすうち、自らが敦盛であることを仄めかして姿を消す。夜すがら念仏を唱える熊谷の前に敦盛が武者姿で現れ、戦死前後の行状を語り、弔いを喜び、恨みを捨てて去って行く。

7月15日 土

解説 ● 西村聡(金沢大学人間社会研究域教授)

狂言 苞山伏 能村 祐丞

能 東北 福岡 聡子

都に着いた旅の僧が東北院の梅を眺めていると、若い女が現れる。女はその梅が和泉式部手植えの梅であると教え、夕暮れと共に消える。やがて、その場で読経する僧の前に和泉式部の霊が生前の姿で現れ、和歌の徳を述べ、舞を舞ううちに僧の夢は覚める。

7月22日 土

解説 ● 村戸弥生(金沢美術工芸大学非常勤講師)

狂言 樋の酒 炭 光太郎

能 須磨源氏 渡邊 茂人

日向の国の神官・藤原興範一行は須磨の浦で、源氏物語ゆかりの「若木の桜」を眺める老樵と行き会ふ。老人は光源氏の生涯を語り、光源氏の来臨をほめかして消える。やがて兜率天に住まう光源氏が降臨し青海波の舞を舞ううち、夜明けとともに消えて行く。

7月29日 土

解説 ● 山内麻衣子(金沢能楽美術館学芸員)

狂言 蝸牛 炭 哲男

能 弓八幡 高村 明宏

勅命により男山八幡に参詣した後宇多院の臣下が、弓袋を携え若者を伴った老人と来合わせる。老人は治まる御代と、君を守る神を称え言祝ぎ、自らを高良の神と明かして消える。やがて高良の神が颯爽とした男体で現れ夜神楽に興じて舞い、八幡の神徳を称える。

8月5日 土

解説 ● 佐々木香織(石川工業高等専門学校准教授)

狂言 狐塚 清水 宗治

能 巻絹 松田 若子

勅命により熊野権現に国々から千疋に及ぶ絹が奉納される。都からの絹を運ぶ男はその途中、音無天神に寄り和歌を奉納したため期限に遅れる。臣下が男の遅参を咎めている処へ神憑りの巫女が現れ、和歌を奉納したことの証しをたてて男を助け、やがて神憑りによって激しく狂い舞う。

8月12日 土

解説 ● 杉山欣也(金沢大学人間社会研究域教授)

狂言 墨塗 能村 祐丞

能 葵上 広島 克栄

光源氏の正妻葵上を呪う六条御息所の生霊。梓の呪法に引かれ現れ、在りし日の栄華を語るうち恨み高まり葵上に迫って打ち据えようとする。葵上の病状の急変に、呼ばれた横川小聖が祈禱し、般若と変じた御息所を調伏する。

8月19日 土 特別公演

解説 ● 西村聡(金沢大学人間社会研究域教授)

仕舞 松風 大坪 喜美雄

狂言 咲華 炭 哲男

能 橋弁慶 宝生 和英

武藏坊弁慶は従者より、五条橋に不思議な早業で人を斬って廻る少年がいると聞き、噂に怖れては無念であると、退治に出掛ける。実は、少年こそは牛若丸で、五条橋で月を眺めていたがそこに武装の弁慶が現れ、二人は戦うが、弁慶が破れ、二人は主従の契りを結ぶ。

8月26日 土

解説 ● 村戸弥生(金沢美術工芸大学非常勤講師)

狂言 入間川 山田 譲二

能 鶉飼 高橋 憲正

旅の僧らが甲斐の石和川に赴くと、鶉使いの老人に会わされる。自分は殺生禁断の場所を鶉を使い処刑された者の亡者であると明かし、罪滅ぼしに僧に鶉使いの様を見せて消える。回向する僧の前に地獄の鬼が現れ、鶉使いの成仏を告げ、法華経の功徳を賛美する。